

# そうべつ議会だより

## 祝 壮警小学校卒業証書授与式



壮警小学校 卒業式

- 第1回定例会のあらまし ..... 2
- 予算審査特別委員会 ..... 4
- 一般質問 ..... 14
- 研修会レポート ..... 17
- 薫風 ..... 18

# No. 93

2024年5月



壮警町議会  
ホームページ



壮警町議会  
YouTube



壮警町議会  
facebook

発行 / 壮警町議会

編集 / 議会広報特別委員会  
(TEL 66-2121 · FAX 66-7001)

# 定例会のあらまし

# 議案審議

## 犯罪被害者等支援条例により被害者等を支援

令和6年第1回定例会は、3月7日から15日までの9日間の会期で開催されました。3名の議員が一般質問を行い、町政を質しました。

令和6年度一般会計予算についてなど議案19件、発議案2件を審議し、それぞれ可決しました。

### 第1回臨時会

第1回臨時会は、1月22日に開催され、一般会計補正予算ほか全3件について審議し、可決されました。

令和5年度壮瞥町一般会計補正予算(第11号)について

1億3,643万円追加

#### 補正後の予算総額

56億639万9千円

#### 空き家対策推進事業

3,500万円追加

#### 質疑

昭和新山地区の危険家屋化が進んでいる空き家を除却する事業とのことだが、詳細の内容について伺いたい。

#### 答弁

昭和新山地区の危険家屋化が進んでいる空き家3件について、当該建物及び土地を町が取得し、建物の除却工事を行うもので、予算の内容は、空き家の除却に係る設計委託料400万円、除却工事費2,600万円、建物及び土地の購入費500万円となっている。

#### 質疑

取得後の土地の活用の予定は。

#### 答弁

当該土地の利用も含め、昭和新山地区の活性化ビジョンの策定を見据え、検討していきたい。

#### 物価高騰対策商品券配布事業

1,372万1千円追加

#### 質疑

事業の内容について。

#### 答弁

町民を対象に、1人当たり5千円分の商工会商品券を配布するもので、その利用期間は3月から6月までを予定している。

### 第2回臨時会

第2回臨時会は、2月15日に開催され、一般会計補正予算ほか全2件について審議し、可決されました。

令和5年度壮瞥町一般会計補正予算(第12号)について

808万8千円追加

#### 補正後の予算総額

56億1,448万7千円

#### 能登半島地震災害見舞金

550万円追加

能登半島地震災害見舞金として石川県に100万円、新潟県及び富山県に各50万円、石川県内の被害の大きい7市町に各20万円、有珠山噴火災害時に見舞金をいただいた3市に支援額に応じて合計60万円、被災地域全体に対する支援として日本赤十字社へ150万円を贈るものです。



第1回定例会の様子

# 令和6年 第1回

## 第1回 定例会

**質議**  
 壮瞥町犯罪被害者等支援条例の制定について

**質議**  
 犯罪被害者等基本法に基づき、犯罪被害者等を支援するための条例を制定したいとのことだが、その経緯、考え方について伺いたい。

**答弁**

平成16年に基本法が制定されたが、その後、様々な犯罪が発生したことから、警察署から、市町村においても被害者等支援の条例制定の提案を受けたこともあり、近

隣市町の動向も勘案して今回提案したものである。

**質議**

犯罪被害者等の一時的な経済負担を軽減するため、被害者等の遺族に30万円、受傷者に10万円の見舞金を支給することだが、被害者等が受けた心身への影響のサポートはどのように考えているか。

**答弁**

被害者等の精神的な負担を軽減するため、保健・福祉分野の関係機関や専門家、被害者等支援の団体と連携を図りながらサポートを行っていきたいと考えている。

久保内診療所設置及び管理に関する条例の制定について

そうべつ温泉病院が伊達市に移転することに伴い、町内の地域医療を確保するため、現在のそうべつ温泉病院の敷地内に久保内診療所を設置するもので、診療科目は内科、診療日は、水曜日の午前9時から正午までとしています。

指定管理者による運営予定で、今後、指定管理者の選定や協定書の締結等、診療開始に向けた準備が進められます。

令和5年度壮瞥町一般会計補正予算(第13号)について  
 5,069万3千円追加

補正後の予算総額

56億6,518万円

堆肥センター運営事業  
 ホイールローダー購入費

695万円減額

**質議**

令和5年度の堆肥センターでの堆肥の販売状況は。

**答弁**

令和6年1月末までの堆肥販売金額は577万円弱で、前年同期と比較して38万円程少ない販売金額となっている。

販売量では、バラ堆肥は本年1月末までに576トンで、前年同期より250トン程少なく、また、袋堆肥は本年1月末までに7,208袋で、前年同期より200袋多くなっている。

**質議**

堆肥が高騰している中で、堆肥センターの活用が重要になってくると思うが、いかがか。

**答弁**

諸物価高騰の折、比較的安価に町内で製造される堆肥を、これからもより一層使っていただけたらよいようにしていきたい。



## 工事発注状況

令和6年2月まで

( ) 内は予定価格

- ゆーあいの家泉源ポンプ取替工事  
1,342,000円(1,386,000円)  
(有)堀口水道
- ゆーあいの家・久保内ふれあいセンター内外部修繕工事  
3,245,000円(3,300,000円)  
(株)中山工務店
- ゆーあいの家・久保内ふれあいセンター浴室カラン修繕工事  
1,100,000円(1,133,000円)  
(有)堀口水道
- 壮瞥中学校建築主体工事  
1,296,570,000円(1,339,437,000円)  
道栄・中山特定建設工事共同企業体
- 壮瞥中学校機械設備工事  
270,050,000円(276,804,000円)  
栗林・堀口特定建設工事共同企業体
- 壮瞥中学校電気設備工事  
167,200,000円(171,611,000円)  
大同・堀口特定建設工事共同企業体
- 壮瞥中学校外構整備工事  
435,050,000円(447,656,000円)  
道栄・壮建・出田特定建設工事共同企業体
- 町道滝之町中島1号線道路改良舗装工事  
25,718,000円(26,521,000円)  
壮建興業(株)
- 町道滝之町中島1号線道路改良舗装その2工事  
7,260,000円(7,304,000円)  
壮建興業(株)
- 蟠溪H2泉源附帯設備交換工事  
3,080,000円(3,124,000円)  
(有)堀口水道
- ゆーあいの家ボイラー高効率化改修工事  
7,623,000円(7,810,000円)  
(有)堀口水道

# 55億9,500万円 4億4,200万円の増

## ■令和6年度壮警町各会計予算状況

区分	令和6年度	令和5年度	増減
一般会計	5,595,000千円	5,153,000千円	442,000千円
国民健康保険特別会計	401,200千円	420,000千円	△18,800千円
後期高齢者医療特別会計	61,600千円	55,900千円	5,700千円
介護保険特別会計	390,000千円	399,900千円	△9,900千円

簡易水道事業特別会計、集落排水事業特別会計は、それぞれ公営企業会計の簡易水道事業会計、集落排水事業会計へ令和6年度から移行した。

		収入	支出
簡易水道事業会計	収益的収支	175,069千円	175,069千円
	資本的収支	150,355千円	213,221千円
集落排水事業会計	収益的収支	205,288千円	205,288千円
	資本的収支	159,750千円	205,322千円

地域経済の活性化と将来への投資を積極的に進める  
令和6年度一般会計予算55億9500万円を可決!!

第一回定例会で予算審査特別委員会に付託された「令和6年度壮警町各会計予算について」は、予算審査特別委員会において、3月13日から15日までの3日間審議を行い、可決すべきものと決定し、15日の本会議で可決しました。

### 一般会計

### 歳出

#### 総務費

#### 総務管理費

#### 一般管理費

#### 役場庁舎内機器管理経費

#### 通信運搬費

321万9千円

#### クラウドPBX外線ゲートウェイ装置購入費

12万1千円

#### 質疑

通信運搬費が前年度よりも61万2千円減少しているが、その理由は、

また、クラウドPBXゲートウェイ装置とは何か。

#### 答弁

通信運搬費の内容は、役場庁舎内の電話使用に係る経費となっているが、昨年7月以降に新料金プランに変更したことで減少した。

また、クラウドPBXゲートウェイ装置は、庁舎内の電話システムに不具合が生じたときのための予備機器として購入するもので、安定した電話通信の確保を目的とする。

#### 質疑

現在の役場の電話が、クラウドPBXというインターネット電話になったことでのメリットや問題点は。また、コスト削減効果は。

#### 答弁

通話時に多少ノイズが入ることがあるが、可搬できるように

たことで、外勤中の職員でも容易に通話できるようになったことがメリットと感じている。コスト的には、令和5年度は、令和4年度よりも88万円程減少している。

#### 職員研修事業

ハラスメント研修委託料

30万円

#### 質疑

昨年3月の臨時会で報告されたハラスメント事業を受けて、昨年8月に壮警町ハラスメント防止基本方針と職員行動マニュアルが策定されたが、再発防止の取り組みと現状について伺いたい。

また、事業が発生した場合、迅速・適切な対応が必要と思うが、考えは。

#### 答弁

昨年4月に、ハラスメントの疑いがある事案についての相談があり、理事者とも情報を共有しながら対応にあたっている。事案に応じて、慎重かつ細心の注意をもって取り扱う必要がある、産業界や主治医、専門家等と相談しながら、事実関係の把握、調査、対応をしていきたい。

# 一般会計予算総額は前年比

## ハラスメント研修を実施、再発防止に努める

**質疑**  
ハラスメント研修の内容と対象者について。

**答弁**  
課長補佐以上の管理職を対象に、年2回実施する予定。

### 交通安全対策費

#### 交通安全対策事業

高齢者運転免許証自主返納支援事業補助金

1万7千円

**質疑**  
本町の免許証自主返納の実態は。

また、警察署や交通安全協会との連携による取組について。

**答弁**

本町における運転免許証の自主返納は、4年度2件、5年度は2月までに3件となっている。

免許証を警察署へ返納する際、運転経歴証明書の交付を希望する方に、交付手数料1,100円を町から補助している。

**質疑**  
自主返納者に対する移動手段確保の支援策は検討されているか。

**答弁**  
コミュニティタクシーの利用促進に努めていきたい。

### 無線放送施設費

#### 無線放送施設経費

538万円

**質疑**  
防災行政無線の声質によるものが、聞きにくいという話をよく聞か、対策をとる考えは。

**答弁**

以前から聞きにくいという話があったことから、女性の声によるアナウンスを男性の声に切り替えた経緯がある。また、アナウンス中の言葉の間隔をあける等の工夫はしている。

また、アナウンス中の声が途切れたり、ノイズが入る等の苦情があるときは、担当職員が自宅に伺い、電波傍受を改善する部品を取り付ける等の対応を行っている。

る。

**質疑**  
聞こえにくさが、電波の問題なのか、アナウンスの声質の問題なのかを調査するためのアンケート等を実施する考えは。

**答弁**

アンケートの実施は、今後の検討課題だが、現状の放送で各地域からの聞こえにくい等のご意見を分析しながら対応していきたい。

### 財産管理費

#### 公共施設管理事業 (指定管理者施設)

3,143万2千円

**質疑**  
北の湖記念館において、展示物の入れ替えや雪合戦映像の提供等に取り組むとの考えが示されたが、どのようになっているか。

**答弁**

記念館内において映像を提供するためのプロジェクターを更新したが、映像の内容や展示物については、現在、指定管理者と協議、

検討中である。

**質疑**  
森と木の里センターの天体観測施設も相当年数が経過し、望遠鏡の操作にも苦勞しているとの話を聞いているが、更新の考えは。

**答弁**

更新経費等の課題があるが、施設使用者からのご意見等を勘案しながら、今後検討していきたい。



winterアウトドア体験会×オロフレフェス

ふるさと納税返礼品の見直し、強化を図る

**質疑**  
修繕料830万円の内容について。

**答弁**  
ゆーあいの家のシャワーやポンプ等の更新と、久保内ふれあいセンターの暖房設備、窓や出入口の改修を予定している。

企画費

企画費

ジオパーク推進経費

420万6千円

**質疑**  
洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会の活動内容は。

**答弁**  
ジオパーク友の会と連携しながら、世界ジオパークの再認定に向けての専門員を導入し、活動を行っている。

**質疑**  
壮警町の協議会への負担金は373万2千円だが、他の市町の負担金は。

**答弁**  
伊達市は388万8千円、豊浦町は275万4千円、洞爺湖町は266万3千円。

地域公共交通対策事業

1,309万1千円

**質疑**  
コミュニティタクシーの利用者減の原因は。

**答弁**  
大きい減少理由として、人口減少と高齢化により利用者の利用回数の減少が考えられる。

**質疑**  
利便性に課題があり、利用者が減っていないか。買い物等には使えないのか。

**答弁**  
町内便と通院便が利用されており、利用者からは便利との声が多い。買い物等への利用の希望はあるが、車両や運転手の増が必要となり、また、町内の商店の衰退に繋がる恐れがある。引き続き検討し

たい。  
行政情報システム運用管理事業  
5,168万5千円

**質疑**  
行政情報システムの運用管理費が大きくなっている。国の支援もあると思うが、初期経費と恒常的に発生するソフト更新や保守点検に多くの経費がかかるが、現状認識は。

**答弁**  
国に求められる事業が多いが、住民への行政姿勢として対応したい。

**質疑**  
2千人台の人口規模の町としての戦略的な行政DX活用による行政効率化を図る上での考えは。また、高齢者への対応は。

**答弁**  
小さな町であっても、大きな町と変わらぬサービスが受けられるようにしたいと考える。高齢者には丁寧な対応を取っていきたい。

ふるさと納税事業  
5,995万6千円

**質疑**  
寄附者が希望する返礼品は、確保されているか。

また、手数料の減額があるが、どのような見直しをするのか。

**答弁**  
当町は農産物が多い。現状では確保されていると考える。手数料については、総務省の新ルールを踏まえた上で、業務委託事業者の利用率やポータルサイトの見直し、送料の見直しを図りながら、今までと違う形で運用したい。

**質疑**  
本町の有利性や強みを生かす取組については、どう考えるか。

**答弁**  
ふるさと納税により、自主財源の確保による行政サービスの向上と、魅力的な返礼品による壮警町ファンの獲得や関係人口の増加、地域産業の活性化を図る上で運用の見直しを図りながら強化した

## 地域おこし協力隊を拡充していく

い。  
また、農産物以外にも、観光関連の返礼品も当町の強みとして考えたい。

### 地域おこし協力隊事業

7,175万1千円

**質疑**

地域おこし協力隊の拡充の狙いは。

**答弁**

各課の希望を受け、年々、予算額は増加しているが、必要な部分は拡充したい。

**質疑**

任期が終わり、町内での起業化を考えている隊員の状況と、新規に採用される隊員への期待は。

**答弁**

商工観光課関連では、引き続き観光プロデューサーとしてシオパークを推進できる人材を期待している。

卒業する隊員は、すでに起業しながら定住している。産業振興課関連は、音楽関係で

独立を予定している隊員が1名、有機農産物の加工品製造を目指している隊員が1名、山おこしとして鳥獣害や林業関係に携わる隊員が1名となっている。  
農業関係では、新規参入を目指す人材を考えている。  
住民福祉課関連では、子育て支援充実として、保育士の人材を考えている。

### 民生費

### 老人福祉費

### 老人福祉総務費

### 生活支援ハウス運営委託事業

1,841万7千円

**質疑**

利用状況と利用料月額は。

**答弁**

生活支援ハウスには、全部で11室あり、夫婦世帯が1室で、残り10室は単身世帯となっており、夫婦世帯1室と単身世帯8室が利用されている。また、利用料月額は、収入にに応じて、無料から2万5千円となっている。

### 介護予防通所委託事業

1,675万9千円

**質疑**

長期入院や施設入所等によるデイサービス利用者の減少によって利用収入が減少したため、委託料を増額したとのことだが、委託料の算定要素を伺いたい。

**答弁**

事業の運営に係る収入は、介護保険の介護報酬と町からの委託料となっており、委託料の算定に当たっては、人件費、管理費等の支出面と、介護報酬や利用者収入といった収入面を要素として積算している。

**質疑**

施設運営の人件費が上がってくれば、段階的に今後も委託料が増額となっていくのか。

**答弁**

施設運営に必要な人員の配置基準があるので、利用者数に関わらず必ずかかる固定経費はある。利用者が減ると介護報酬も減るため、委託料が増額になる可能性

はある。

**質疑**

利用者の減少によって事業所経営を圧迫することが懸念されるが、仮にデイサービス事業から撤退となった場合、介護難民の発生等が危惧されるが、町の考えを伺いたい。

**答弁**

新規利用者を増やし、介護報酬を増やせないか、事業者と共に考え、撤退とならぬようにしたい。



壮警町老人クラブ連合会 演芸交流会

保育料及び保育所給食費の完全無償化

高齢者在宅生活支援事業

70万円

配食サービス以外の事業は。

【質疑】

訪問サービス（ヤクルト配布）・入浴サービス・病院への送迎をする移送サービス・屋根の雪下ろし等がある。

緊急通報システム管理委託事業

47万円

【質疑】

地域から孤立している高齢者も増えつつある。町から設置を勧めることが必要ではないか。

【答弁】

2か月に1回、民生委員協議会を開催し、利用状況の確認や、民生委員を通じて利用の呼びかけを行っていることを推進している。

児童福祉費

児童福祉総務費

壮警町子ども子育て会議事業

312万8千円

【質疑】

計画策定支援業務委託料300万円とあるが、なぜ委託しなければならぬのか。子ども子育て会議委員による検討・策定はできないのか。

【答弁】

令和4年に制定された、子ども基本法第10条（努力義務）に基づき策定するもので、今まで町にあった子ども子育て支援計画を含み、他に貧困対策や若者対策等を総合的に盛り込んだ計画になっている。

内容は、ニーズ調査や子どもの実態調査を行い、より良いものを作りたいとの思いから、国の補助事業を活用して計画を策定する予定。計画策定後は、その掲げた目標の実現に努めたい。

児童措置費

保育及び子育て環境整備事業

7,814万5千円

【質疑】

保育料と保育所給食費の完全無償化による保護者の負担減はいくらになるのか。

【答弁】

保育料と保育所給食費を合わせて247万円の負担減になる。

そつべつ児童クラブ運営事業

990万9千円

【質疑】

児童クラブから自宅が遠い子ども達の帰宅時の対応について。

【答弁】

全町内の子どもが同じように利用し、迎えは原則保護者となっていて、保護者からの要望があり、小中学校のスクールバス運行の隙間時間を使って運行している。

衛生費

保健衛生費

予防費

特定健康診査・特定保健指導事業経費

613万3千円

【質疑】

生活習慣病検診の実施で、受診者数をコロナ禍以前に戻したいとの説明があつたが、具体的な取組は。

【答弁】

生活習慣病検診の受診者は、コロナ禍以前の令和元年度は、夏期実施分で478人、冬期実施分で78人の計556人に戻すため努力するが、6年度は400人分の予算を計上しており、目標達成に努力する。



健康づくり講演会

農林水産業費

農業費

堆肥センター運営事業

2,292万1千円

## 有害鳥獣駆除対策の充実を図る

**質疑**  
堆肥センターの6年度の堆肥販売見込数が前年度より少なくなっているが理由は何か。

**答弁**  
6年度の堆肥販売見込数は、販売実績に応じて予算に計上している。

**質疑**  
近年は在庫がない状況が続いていたが、生産体制に何か問題があるか、生産を増やせないのか。

**答弁**  
ここ2～3年は、生産が間に合わず、堆肥の納品を待つて頂いていた。

生産が間に合わない原因として、水分量が多く発酵が進まず、また、重機の調子が悪かったため生産量を確保できなかったが、改善によって今年は生産も順調であり、3月から5月にかけて、アルバイトの協力を得ながら、在庫の切れることのないよう、増産に取り組んでいる。

**質疑**  
堆肥実証圃での結果は発表されているか。今年度も昨年度と同じ方法で実施するのか。

**答弁**  
堆肥実証圃は今年で3年目になる。1年目の結果は広報で報告した。専門機関の助言で同じ方法を3年間実施し、結果を比較することとしていることから、6年度の終了を持って結果を報告する。

**質疑**  
国が推進する有機栽培の今後の取り組みと、費用対効果を含めた堆肥実証圃の考えは。

**答弁**  
費用対効果も含めた実証を検討し、有機栽培についても準備を進める。

### 情報通信環境整備対策事業

313万4千円

**質疑**  
予算額が5年度の倍額となっているが、5年度の実績と結果、6年度の実績の重点と課題を伺う。

**答弁**  
5年度は、4年度までに整備した通信局やセンサー類の運用精度を上げることを行ってきた。

6年度はさらに精度を上げることを重点に、新たな基地局を増やし、気象観測装置を設置する。委託料が増えたのは、技術料に加え通信費が入っているため。

**質疑**  
壮瞥町に合った情報通信環境推進の取組とは。

**答弁**  
ICTを使ったハウス環境制御や水田センサーの普及、有害鳥獣捕獲の確認等、ハード環境整備の取組を進める。

### 畜産業費

#### 町営牧場維持管理事業

442万5千円

**質疑**  
2か所の町営牧場の今後のあり方は。

**答弁**  
立香牧場は廃止して上久保内牧場に統合する方向で検討している。

立香牧場の有効利用についても検討している。

### 林業費

#### 林業振興費

##### 有害鳥獣関係

732万4千円

**質疑**  
鹿との交通事故が近年多発しているが、鹿の駆除実績は。

**答弁**  
4年度は300頭、5年度は387頭の駆除実績となっている。6年度は600頭の駆除を予定している。

**質疑**  
5年度の囲いわなの捕獲実績は。

また、6年度に南久保内から上久保内へ囲いわなを移設する理由と移設場所について伺いたい。

**答弁**  
5年度の囲いわなによる捕獲実績はない。

南久保内から上久保内への移設については、これまで民地を借り

コロナ禍による資金借入の返済支援を実施

て囲いわなを設置していたが、作業上都合が悪い等の理由により、上久保内の旧廃棄物埋め立て処分場に隣接した町有地に移設することと検討している。

**質疑**

新規狩猟免許取得者に取得経費の助成を行っているが、実際に狩猟する際に使う銃や銃弾を購入する経費負担が重いと思うが、これに対し助成を行う考えはあるのか。

**答弁**

有害鳥獣として鹿を駆除する際の駆除協力謝金8千円を、6年度から1万円に増額した。

また、緊急捕獲の際の謝金について、国から7千円、町から3千円の計1万円であったものを、6年度から町からの謝金を5千円に増額し、計1万2千円としている。また、6年度は駆除に係る捕獲頭数増も予算に反映し、狩猟経費の負担減に取り組んでいる。

新規狩猟免許取得者の銃取得に係る助成は、今は考えていないが、関係機関と協議し必要に応じて考えていきたい。

商工費

商工費

商工業振興費

中小企業・小規模企業融資制度資金利子補給金

210万円

**質疑**

利子補給金制度の内容は。

**答弁**

6年度の新たな制度で、壮瞥町中小企業振興審議会の意見を踏まえ、コロナ禍による資金借入の返済支援で、上限5万円の利子のみの返済支援で、対象は、マル経融資と新型コロナウイルスの特別貸付で40社から50社を想定している。

観光費

オロレスキー場リフトモーターオーバーホール工事

247万5千円

**質疑**

リフトモーターのオーバーホールを行うとのことだが、リフトの耐用年数と5年度のスキー場の営業実績は。

**答弁**

耐用年数は、概ね30年から40年程度。

スキー場の営業日数は67日間で、当初の予定より2週間程短かった。

リフトの輸送人員は、5万3,492人で、前年度7万4,175人の実績と比して72%であった。

**質疑**

6年度の事業内容は。

壮瞥町アニメ押し観光ブランド創出事業委託料

350万円

**答弁**

5年度は、リングめぐりと銘打つて、スタンプリーを行った。

6年度は、アニメキャラクターとコラボした壮瞥町独自のオリジナルグッズを作ることになっており、また、全町に展開する仕掛けも考えている。

洞爺湖園地等管理事業

579万円

**質疑**

公園内のトイレを洋式にすべき

ではないか。

**答弁**

今後、有利な財源があれば、環境改善に向け取り組んで行く。

壮瞥町特定外来生物防除等対策事業交付金

397万6千円

**質疑**

5年度の活動実績は。

**答弁**

ウチダザリガニの捕獲実績は、6万4,984匹であった。参考



第35回昭和山国際雪合戦

## 学校給食費の保護者負担を1/2に軽減する

までに、4年度6万6,008匹、3年度7万8,184匹と、徐々に捕獲数が減ってきている状況である。

他の取組としては、水草の植生状況調査や地域の小学校への環境学習などを行っている。

**質疑** そつべつ情報館運営事業  
公共施設指定管理者委託料

250万円

**質疑** 新たに予算化した経緯は。

**答弁**

有限会社そつべつフレッシュプラザが、指定管理者として、そつべつ情報館の管理を行なっているが、情報館の運営は、商工観光課のほか、そつべつ観光協会、そつべつフレッシュプラザとが混在する形で行っていることから、スケジュールメリットを考え、指定管理者であるそつべつフレッシュプラザが一元的に管理を行っていくよう、予算計上したものである。

**教育費**

**教育総務費**

**教育委員会費**

**学校給食運営事業**

1,993万3千円

**質疑**

学校給食で地元食材は、どの程度使われているのか。

**答弁**

毎月1回、地産地消の日を設け、地元の食材を提供している。

**質疑**

安全な食材の提供にはコストがかかると思うが、食材にかかるコスト等を議論する場はあるのか。

**答弁**

給食の食材費は、小学生1人あたり270円、中学生で330円となっている。食育センターでは、安全安心を最優先に、予算の範囲内で給食を提供している。

また、食育センターの運営に関しては、年1回、伊達市と壮瞥町で運営委員会を開催し、安全安心な給食の提供に向けた協議を行っている。

**質疑**

給食費の保護者負担軽減の内容は。

**答弁**

給食費月額額の2分の1を補助するもので、小学生1人あたり2,200円、中学1・2年生で2,700円、中学3年生で2,600円の補助額となっている。

**小学校費**

**学校管理費**

**小学校運営事業**

1,714万7千円

**質疑**

中学校の新築工事によって、小学校のグラウンドが使用できないが、対応策は。

**答弁**

現中学校のグラウンドを使用して小学生の体育等の授業を行う予定としている。

**質疑**

プール使用料25万8千円が計上されているが、プール使用の考えと、中学校で使用料が計上されていない理由について。

**答弁**

プールは、コロナ禍でしばらく

使用していなかったこと、また、老朽化も進んでいることから、今年度、点検清掃をした上で、使用可能であれば使用するが、損傷等が大きく使用できないときは、他の市町のプールを使用することを考えている。また、中学校では、学習指導要領でプール授業が必須でないことから、使用料を予算化していない。

**中学校費**

**学校管理費**

**小中高等学校備品購入費**

2,000万円

**質疑**

小中高等学校備品購入費が計上されているが、どのような備品を購入する予定か。

**答弁**

小中高等学校備品購入費とあるが、中学校備品購入費の誤りであり、訂正させていただきたい。購入予定の備品は、中学校新校舎での机、テーブル、椅子、棚等となっている。

スポーツによる地域活性化を推進



壮瞥中学校 卒業式

**【質疑】**  
地方交付税年額で、1億1,043万3千円が算定されている。

**保健体育費**  
**保健体育総務費**

スポーツによる地域活性化推進事業

631万4千円

**【質疑】**  
スポーツによる地域活性化推進

事業の過去3年間の事業内容と成果、アウトドアネットワークの法人化と、地域活性化起業人制度企業人材派遣事業の内容について伺いたい。

**【答弁】**  
また、総合型地域スポーツクラブとの連携について。

**【質疑】**  
授業中にタブレット端末を常時使用していることから、広めの机を購入予定としているが、落下防止機能についても検討したい。

**【質疑】**  
壮瞥高校があることで、地方交付税はどの程度措置されているのか。

**【質疑】**  
スポーツによる地域活性化推進事業では、そうべつアウトドアネットワークを組織し、アウトドアスポーツやアウトドア体験会、また、壮瞥高校と連携したアウトドア人材の育成や様々な研修会を通じてアクティビティの商品開発に努めてきた。成果としては、直ぐに商品化できるものがあり、人材

育成では、地域マネージャー1名、アウトドアコーディネーター2名を組織に就任させている。

**【答弁】**  
今後の取組として、6年3月に一般社団法人となるアウトドアネットワークの体制整備のため、法人化した組織の支援やアドバイス、経営や営業活動等のノウハウをもった専任人材の確保が急務となっており、総務省の地域活性化起業人制度企業人材派遣事業の活用を予定している。

この事業は、交付税措置があり、560万円の負担金は、派遣される人材に対し支払うこととなる。

アウトドアネットワークの今後の活動では、開発した商品の販売や観光事業者やスポーツショップと連携した商品開発、壮瞥町の一層の魅力化による観光客誘致等につながることを期待している。

**【答弁】**  
総合型地域スポーツクラブとの連携では、NPO法人そうべつ地遊スポーツクラブが実施しているキッズスポーツクラブやジュニアスポーツクラブといった子どもを対象としたスポーツ活動等を通じて、連携を図りながらスポーツの人づくりを推進している。

体育施設整備運営事業

380万4千円

**【質疑】**  
総合グラウンドの夜間照明が暗く、また、器具庫も傷んでいるが、改修の考えはないのか。

**【答弁】**  
夜間照明については、利用が少ないことから改修には慎重な検討が必要と考えている。器具庫については、危険防止の観点から必要な補修ができれば、と考えている。

給与費

7億2,421万9千円

**【質疑】**  
近年、優秀な人材確保に向け、民間企業が躍起になっているが、本町において、人材確保のための給与条件や採用条件のアップを行う考えはあるか。

**【答弁】**  
職員給与については、人事院勧告に基づいて決めているが、給与条件だけではなく、壮瞥町の魅力についての発信が必要と考えており、そういった点を踏まえた職員採用、人材確保に取り組んでいきたい。

## 町有林の皆伐による収入増を見込む

**歳入**

**財産収入**

**不動産売払収入**

**立木売払代**

358万3千円

**質疑**

前年度より200万円以上増額の予算計上となった要因は。

**答弁**

5年度は、久保内地区の町有林を間伐し、約100万円の売払実績があつたが、6年度は、滝之町地区の町有林の皆伐を予定していることから358万円を予算計上した。

**国民健康保険特別会計**

4億120万円

**質疑**

被保険者の世帯数と人数は。

**答弁**

被保険者数は、4年度末で623人、6年2月末で590人。世帯数は、4年度末で397世帯、6年2月末で392世帯となっている。

**後期高齢者医療特別会計**

6,160万円

**質疑**

被保険者数と、男女別の人数は。

**答弁**

5年度末で75歳以上553人で、高齢化率23.2%。そのうち、男性231名、女性322名となっている。

**介護保険特別会計**

3億9,000万円

**質疑**

被保険者数と年代別の構成、また、要支援・要介護の認定者数は。

**答弁**

5年度末で40歳未満690人、40歳から64歳までが762人、65歳から74歳までが375人、75歳から84歳までが171人、85歳以上が204人となっている。認定者数は、要支援1が14名、要支援2が25名、要介護1が47名、要介護2が35名、要介護3が31名、要介護4が28名、要介護5が13名となっている。

**簡易水道事業会計**

**簡易水道事業費用**

**営業費用**

原水及び浄水費  
簡易水道水質検査委託料

530万2千円

**質疑**

町の水質検査回数と、検査場所は何か所か。

**答弁**

水質検査は51項目あり、項目ごとに検査回数が異なる。回数は、多いもので3か月に1回で、代表的な一般細菌と大腸菌等は1か月に1回検査している。検査場所は、町内6か所となっている。



壮瞥高校 卒業式

壮瞥町議会の本会議をYouTube(ユーチューブ)でご覧になれます!!



YouTube 壮瞥町議会



で検索

# Q & A

## 〔補聴器購入に補助制度創設〕

### Q 加齢性難聴者福祉充実を

### A 自治体の動向注視し慎重に検討



佐藤 忖

皆さんが、社協や地域包括支援センターで実施の各種行事に参加することにより、認知症予防、健康寿命の延伸につながる、結果として医療費の抑制につながることを認識している。

〔議員〕 年々高齢者の加齢性難聴者が増え、社会参加を閉ざし、引きこもりや認知症を引き起こす要因とも言われています。難聴者の中等度に対しての手当はなく、各町の取り組みに任せられています。これに対応する補聴器は大変高額で、年金生活者には大きな負担です。壮警町の加齢性難聴者の現状をどのように認識しているか。

#### 〔町長〕

難聴と認知症の関係は、国の「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」では、認知症の危険因子として、遺伝性のもので、や高血圧、糖尿病などの外、難聴もその一つにされていると認識している。

加齢性難聴者の現状把握は、毎年要介護認定申請で実施する、聴力の調査項目で把握、5年度は97人の申請者中44人に聴力の低下が現れていると認識している。

〔議員〕 要介護認定申請は毎年あるが、

3年度、4年度の認定調査状況は。

#### 〔住民福祉課長〕

聴力の認定調査は、  
①普通に聞き取れる。②普通の声やつつと聞き取れる。③かなり大きな声なら聞き取れる等、5項目で調査します。

3年度は、115人中、②49人③7人で、56人が低下傾向。  
4年度は、86人中、②と③で44人の聴力低下で認定申請者の半数近い人に低下傾向が見られる。

#### 〔議員〕

このように聴力の低下に伴い、補聴器の使用は、高齢者のみなさんの生活の質の向上と確保、認知症の予防、健康寿命の延伸等につながるが、町の認識は。

#### 〔住民福祉課長〕

難聴による町民同士のコミュニケーション不足や、外出控えなどにより様々な意欲が低下し、認知症やうつ病になる傾向が強くなると言われていることから、難聴者も含めた全ての高齢者の

### Q 難聴者の不便解消に補聴器購入補助を

### A 国で制度設計を

〔議員〕 補聴器購入に公的補助制度の創設が必要と考えるが。

#### 〔住民福祉課長〕

補聴器購入補助制度は、障害者総合支援法により、原則9割の公費負担がある。

難聴は日常生活の不便や生活の質を低下させる要因でもあり、国において一律に制度設計すべきと考える。

#### 〔議員〕

購入補助の取り組みの実態は。

#### 〔住民福祉課長〕

令和5年5月現在で北海道内19市町村で取り組んでいる。

#### 〔議員〕

5年12月現在、道内で22市町

村、全国で232市区町村が実施。

道内では赤井川村が昭和49年から取り組み、令和4年度7人、5年度2人と少ないが、利用者から喜ばれている制度と担当者

の話。

実施内容は、2分の1補助で限度額5万円が多いが、「日常生活で活用する機器が高いとは思わない」（十勝管内の町担当者）

年々高齢者の増える壮警町も、高齢者福祉充実のために、補助制度の創設を強く要望する。

#### 〔町長〕

質疑を交わした内容も踏まえて、今後国への要望、自治体の動向を調査し、健康で安全、安心して日々生活出来るよう、諸計画の位置づけも含めて、慎重に検討したい。



壮警高校 入学式

〔壮瞥町の災害対策の現状とその見直しについて〕

**Q** 町民の生命安全を守るため  
災害対策の見直しが必要

**A** 能登半島地震の教訓を  
今後の防災まちづくりを生かす



湯浅祥治

落の長期化など厳冬期の安心な避難生活の環境づくりも含め、これらの教訓を生かし、災害に強い道路網やインフラづくりを今後の防災まちづくりに生かしていく。

議員

今年1月1日、石川県能登半島で最大震度7の地震が起き、200名以上の方が亡くなられ、

今も1万4000名が避難所で過ごされている。また、世界各地で地震や火山噴火が起きている。北海道でも2018年に胆振東部地震が起き、北海道中が停電するブラックアウトが起きた。

いつ起きるかわからない災害に備える準備が必要と考え、町民の生命安全を守るため、本町における災害対策の現状とその見直しについて伺う。

① 能登半島地震を受けて、本町として活かすべき教訓をどう考えるか。

② 地域防災計画の見直しを検討しているか。また、見直す場合、どのような視点が大切か。

③ 昨今、インフラの維持管理や災害対応時の自治体の人材不足が指摘されているが、本町ではどうか。また、今後10年間においてどうか。

町長

① このたびの地震災害の特徴は、想定を超える規模の地盤変動等により、人的被害、建物被害、土砂崩れや道路の寸断、被害の全体像の把握に時間を要したことに加え、物資の供給不足、断水、電気、通信回線の寸断により、孤立集

② 本町の計画は昨年3月、関係法令や北海道地域防災計画に基づき改定を行い、現在も見直しを進めている。今後、

国や北海道において防災計画等の見直しが行われるものと認識しており、その動向を踏まえ、さまざまな視点で見直しを行った中で対応していく。

③ 社会インフラは、計画的な修繕や更新等、適切な維持管理に努めている。今後も必要な人員を計画的に採用するとともに、人材育成に努めている。

本町では、平成17年から北海道大学の名誉教授を防災学識顧問として委嘱し、職員を

対象とした研修や、防災士資格取得を推奨し、退職自衛官を地域防災マネージャーとして採用し、組織体制強化と人材育成に取り組んでいる。現在までの取り組みを継続するとともに、今後、啓発活動の充実や、国、北海道及び周辺自治体との連携を強化し、災害に強いまち・人づくりを推進する。



壮瞥小学校 入学式

【地球温暖化対策について】

**Q** 新たな再生可能エネルギーの導入と温暖化対策の考えは

**A** 実行計画（区域施策編）に盛り込み調査・研究を開始する



菊地敏法

テンシャルが高いことから、今後の小水力発電導入（千キロワット以下）の可能性についてはどうか。

また、防災施設の強化も兼ねて、避難所や情報館アイに「防災対応型太陽光発電システム」の導入の考えは。

山梨県と同じような環境にある壮瞥町でも、この取組を行ってはどうか。

住民福祉課長

果樹等の剪定枝の活用についてではありますが、令和6年度に策定する計画の中に盛り込み、その中で有効に活用できる可能性があると思いますので、調査・分析等を担当課と協議し、また、本町も果樹が盛んですので、活用について検討していきたいと考える。

定までのスケジュールは。

町長

町民、事業者、関係団体と連携し、町内全域での温室効果ガス排出量の現状、将来予測、削減目標の設定を行う。

住民福祉課長

計画策定の中で、再生可能エネルギー全般の導入に向けた計画を策定する予定であり、それを踏まえ各担当課と協議を行い、環境省や北海道の補助事業等を活用しながら、導入について調査・研究を開始していきたいと考えている。

町長

令和2年度に温室効果ガス排出量調査を行ったところ、平成25年度に対し、5%削減の結果だった。令和5年度に見直す計画だったが、令和6年度の「壮瞥町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の策定に合わせて見直す考えである。

議員

新年度に計画を策定予定の、「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」のおおまかな内容と策

議員

近隣市町に比べて水力発電のポ

議員

温暖化対策として山梨県で行っている「4パーミル・イニシアチブ」、果樹等の剪定枝を炭にし、土壌中に埋めることで、大気中の二酸化炭素の増加量を抑える取組で、国際的にも、多くの国や機関が取り組んでいる。



壮瞥中学校 入学式

## 胆振管内町議会議員研修会レポート

講師 胆振総合振興局 振興局長 関 俊一氏

### 『胆振総合振興局の取り組みについて』

1月30日に、洞爺湖万世閣ホテルレイクサイドテラスにて、胆振管内町議会議員研修会が開催されました。

講師に胆振総合振興局長の関俊一氏をお招きし、『胆振総合振興局の取り組みについて』をテーマに講演が行われました。

### 胆振の人口減少について

初めに、胆振管内の人口動態についての現況や将来推計について説明がありました。

2025年に35万人超だった管内人口が、2050年には25万人にまで減少する推計の中、近年は外国人の住民が増加傾向にあることから、地域を支えていくためには、外国人に、住民として暮らしたい地域として選ばれる環境づくりが必要になってくる、とのことです。

### 胆振の観光について

次に、観光について、令和2年に開設した『民族共生象徴空間ウポポイ』について、来場者が30万人を超えたことから、来場者100万人を目標に、施設運営財団との連携を図りながら、情報発信に努めていく、とのことでした。

また、2015年に1,600万人を超えた胆振の観光入込客数が、コロナ禍によって大幅に落ち込みましたが、2022年から徐々に回復しつつあることから、コロナ禍前を目指し、外国人を含めた道外観光客の増を目標に、取組を進めて行くとのことでした。

### ゼロカーボンいざりについて

胆振のゼロカーボンの取組として、室蘭港カーボンニュートラルポート形成に向けて、水素ステーションやバイオマス発電、再生エネルギーの活用などを推進してい

くとのことでした。

また、ダブルポートシティ苫小牧の取組として、メガソーラーや水素製造、バイオマス発電等を推進していくとのことでした。

### ヒグマ対策について

近年、人への警戒心の薄いヒグマが人里に出没している状況にあることから、令和6年の春から捕獲頭数を増やす等、人への警戒心を持たせ、人里への出没を抑制し、ヒグマ対策に必要な人材の育成を図る取組を行っていく、とのことでした。

### 価格高騰等経済対策について

北海道の価格高騰等経済対策として、LPGガス利用者緊急支援事業や人材確保緊急支援事業、お米・牛乳子育て応援事業第二弾等の事業を実施しており、道民の経済的負担の軽減に努めていく、とのことでした。

### 北海道半導体・デジタル関連産業振興ビジョンについて

ラピダス社が、千歳市に建設している次世代半導体の製造工場の

整備に関連して、半導体の製造、研究、人材育成等が一体となった複合拠点を実現するとともに、食や観光、再生可能エネルギー等の産業振興と合わせて、北海道経済全体の成長に結びつけていくための目指すべき指針となる『北海道半導体・デジタル関連産業振興ビジョン』の策定作業を進めており、ラピダス社の立地を契機に、投資や雇用、関係人口の拡大等の効果を積極的に取り込み、本道全体の経済活性化を図っていく、とのことでした。



胆振管内町議会議員研修会

# 薫風

## 『農商工連携で未来へつなぎたい』 125年の歴史から200年へ』

壮警町地域おこし協力隊 柏田 直樹



献を果たしたい」と強く思っております。

また、今後の目標としては、町の課題解決と次代に残す役割に徹して参ります。特に町の基幹産業である農業・農産品による「ふるさと納税商品の開発」「新規就農者の発掘」などに取り組みます。

今までの経験がどこまで通用するかは定かではございませんが、私の「次代へ繋ぐベクトル」は「皆様と同じベクトル」と同様とします。先代から繋がるベクトルを次代へ繋ぐベクトルへ強く邁進したいと考えます。

個人的には自分時間を大事にし、家庭菜園などで自然に向き合う時間が取ればとも思っております。微力ではございますが、皆様のご協力を頂きまして「一歩ずつ前進」したいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

多くの皆様のご意見とお知恵を頂きたいと思っておりますので、お気軽にご連絡をお願い申し上げます。

商工観光課 TEL 66・4200

### 編集後記

▲2024年の元旦、静かに迎えるも午後四時十分、予期しない能登半島地震発生。どのテレビ局も被災地の現況連日放映。その被災の凄まじさに眼を覆う。

▲災害の種類は違えども、壮警町は定期的に起こる有珠火山活動災害発生に対し、日ごろからその対応について、駒ヶ岳・十勝岳の動静も鑑みながら、怠る事無く準備が必須ではないか。

▲この地で53年間暮らし、二度も噴火災害を体験。業務としての噴火災害対応に従事するも、終生忘れる事のできない貴重な体験を共有、伝えることの大切さを実践。

▲この体験を災害発生時にどう活かすか、年々地域に住む人々の高齢化。その現実を適切に把握し、その対策を怠ることなく、一住民として準備が必要と痛感する。

▲町が呼びかける自主防災組織化も掛け声だけ、中々進まずの現況。今年こそ町民みんなで真剣に考えて取り組みたいものと、新年度のスタートに思う。

(佐藤 恣(つとむ))

(昭和35年)でありまして、雪が少なく自然豊かで思い出の多い町に舞い戻ったというところです。

農商工連携は実に深い役割であり、農林業者様・商工業者様のご協力なくして成り立たない役割と踏まえております。

壮警町における1次産業者様・3次産業者様は各々約400名です。併せて800名の皆様と知恵を共有し、協働しなければ「連携」が成り立たない訳です。

アイデアは思いついても「一人ではできません」。優先順位をつけて、「1次産業×2次産業×3次産業」6次産業化推進での町への貢

昨年8月1日付けで地域おこし協力隊(農商工連携協力隊)として札幌より移住しました柏田直樹(かしわだ なおき)です。皆様よろしくお願い申し上げます。

札幌では主に損害保険会社の社員として25年ほど定住しておりますが、もともとは登別市生まれ